



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
2188

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 森信 秀樹
幹事 謙訪 昭浩

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC [検索]



「職業奉仕・米山月間」

2014年10月16日 第2164回例会
10月第3例会

◆ 会長時間 ◆

森信会長



皆さんこんにちは。
さて、冒頭に黙祷をさせて
頂きましたが、当クラブの友
好クラブでありますシカゴロ
ータリークラブの会員で、謙
訪昭登P Gとともに両クラブ
の交渉キーパーソンとしてご活躍された原嶋正孝
さん(MAC M HARASHIMA)が、去る10
月9日にご逝去されました。このたびの両クラブ
の記念事業のやり取りの過程でもたらされた悲し
いお知らせメールでした。ご冥福をお祈りいたし
ます。少し経緯などご説明させていただきます。
1997年に謙訪昭登さんがシカゴRC例会に出席し
た際に知り合われたのが同クラブ日本人会員原嶋
正孝氏です。

両クラブの友好関係を築く上で先方のキーパー
ソンとして多大な貢献をしていただきました。
当クラブでは謙訪昭登さんをキーパーソンとして
正式に任命しています。この2人の出会いが今で
は両クラブの正式な友好関係に発展しています。

現在も、シカゴRCの110周年、当クラブの45
周年を祝うため、両地で記念植樹を行う計画を検
討する上で、原嶋氏にはご尽力をいただいていた、

そのような方がお亡くなりになり非常に残念です。

両クラブの友好関係の経緯についてはクラブホ
ームページに掲載されているので一度ご覧になっ
てください。

先週は職場訪問例会を開催いたしました。例会
場を提供いただいた梶会員、見学先の三菱重工業
株様には多大なご負担をおかけしましたが、広島
の地で最先端の医療機器を開発されていること
や、組み立てられたコンプレッサーを大掛かりな
完成検査をして出荷されているところなど拝見でき、
有意義なひと時であったかと思います。それ
ぞの部門でチームを組んで整然と作業されてい
る姿を見るにつけ、自身の職業に対する自信や
責任を自覚し、ものづくりに没頭されている姿に
共感しました。同時に「ものづくり都市広島」の
市民として心強く思いました。私自身も職業に対
する意識が一層高まったように感じました。

昨日私の母校であります国泰寺高校の1年生9
名が会社に訪ねてくれました。もう10年以上も続
いていますが、先輩の職場を訪問し、建設業とい
うものの仕事内容や取り組む姿勢、そこに至る苦
労話などを聞いて、自分たちの進路・進学や職業
選択の参考にしようというものです。

半数近くは家族が建設業にかかわっていたり、

残りは建築系の大学に進学を希望したり、その参考にしたいという生徒たちを前に、会社での営業から建物竣工引き渡しまでの流れと各段階での業務内容などを説明しました。

建築家からお預かりしている模型と実際の図面、その完成写真などを見てもらいましたが、どの顔も真剣で興味津々の様子でした。その後、近くにある工事中の建物内に移動し、作業所長から建物の説明や各種材料・工法などの説明を受けました。初めて見る工事中の建物の様子に驚いたり感心したりしていました。実はこの取り組みを通じて私自身や社内の担当者、現場の職人なども大いに刺激を受けているのです。3K職場といわれ、若いひとの人手不足といわれて久しいこの業界ですが、建物を説明する社員たちも彼らから刺激を受け、プライドを取り戻しているのです。一人でも明日の弊社社員がこの中から生まれてくれることを期待しています。

私の職業奉仕活動の一端をご紹介させていただき会長時間を終わります。

■ 物故会員に黙祷

友好クラブであるシカゴRCの会員で、両クラブの友好関係構築に大きく貢献された原嶋正孝さんがご逝去されましたので、謹んでお知らせいたします。

● 会務報告 諏訪(昭浩)幹事

- ※「これから」正誤表配布について
- ※創立45周年実行委員会組織図の配布について
- ※19日地区大会について諸連絡
- ※例会終了後、4階カメリアにおいて第3回クラブ協議会を開催いたしますので、理事会役員委員長及び副委員長は出席願います。
- ※10月定例理事会報告（別記）

● 10月定例理事会報告

1. 報告事項

- 1. 合同幹事会報告（9月29日開催）
 - ・RC110周年記念事業『平和へのメッセージ』の進捗状況の報告
 - ・豪雨災害への支援活動の情報交換
 - ・RCカレンダー西RC分（80部→85部取って欲しい依頼を承諾）
 - ・合同ゴルフ大会の往復はがきの取りやめ

- 2. 10月9日職場訪問例会について
- 3. 五日市花樽寄付の日程について。11月7日（金）10:00amに決定。
- 4. 2015-16年度ガバナー補佐の任命について。G7は中村 哲朗さん（西RC）、G6は小川 嘉彦さん（陵北RC）。

2. 審議事項

- 1. 前回議事録の承認。
- 2. 9月18日社会・青少年奉仕部門クラブフォーラム活動報告を承認。
- 3. 11～12月卓話プログラムについて活動計画を承認。
- 4. 12月18日夜間例会並びに懇親会について活動計画を承認。余興費用増加の為、登録料10,000円→12,000円。
- 5. 11月6日ロータリー財団強調プログラムについて活動計画を承認。
- 6. 佐伯区街おこし活動支援事業（樽鉢植樹）について活動計画を承認（再提出）。本催しはメイキャップ対象となる。
- 7. 新会員候補者について入会手続き開始を承認。
- 8. 創立45周年実行委員会組織再編について承認。
- 9. 地区大会登録料の補助について、2日間の参加が必要な会長・幹事の片道交通費及び宿泊費はクラブ負担とすることを承認。
- 10. 次年度理事役員選挙要領に基づく指名委員の承認。

3. 協議事項

- 1. 南相馬ロータリークラブからの義援金について。取り急ぎ9月18日付で礼状を発送済。災害発生当初は様々なニーズがあったが、現在は避難所生活も経てニーズがバラバラであるため、使途についてはもう少し状況を見て判断する。地区でも現在5,800万集まったが使用用途を模索中との事。
- 2. シカゴRCからのメールへの返信案について。金額等々の詳細は次段階として取り急ぎ双方で周年記念事業（植樹）を実行する意思を表明したものを作りたい。実施日（ロータリーデー）を2015年2月22日（日）で決定。

3. その他

台南RC訪日の際の観光箇所候補について。
11月下旬にご案内送付予定。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 柴田委員

本 日 (10月16日・木曜日)

会員数 76名 出席者 62名

欠席者 14名 ご来客 1名

ご来賓 1名 ゲスト 1名

計 65名

前々回 (10月2日・木曜日) 

出席率 100%



※ 職業奉仕委員会 中山委員長

先週行いました、職場訪問例会へ多数の会員の方にご参加いただきました。

本当にありがとうございました。

また、職場訪問先である三菱重工業様との橋渡しをお引き受けいただき、ご尽力いただいた梶会員にも、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

又、本日ボックスへ配布しています通り、来週は30分延長してフォーラムを開催いたします。先週同様、多くの皆さまのご参加、よろしくお願いいたします。

※ 地域・環境委員会 篠副委員長

五日市駅北口樽鉢植樹セレモニーのご案内

平成26年11月7日(金)

J R 五日市駅北口

9：50 集合 (郵便ポスト前集合)

※作業ができる服装で参加ください (植栽用具は用意されます)。

※ご回書は10月24日(金)までにお願い致します。

※出席者は、メキャップ対象となります。

※ 会報雑誌・広報委員会 小島委員

ロータリーの友誌紹介

※ ロータリー情報委員会 斎藤副委員長

* 例会出席の意義

ロータリーは単に知識として知っているだけではだめなのです。ロータリーの中で色々な経験、体験をつんではじめてロータリーが身につ

いていくのであります。

あるスイスの片田舎で、おばあさんがザルの中に羊の毛を入れて、きれいな谷の水に打たせておりました。そこへ牧師さんが通りかかりました。「おばあさん、あんたは日曜ごとに教会へ来て私の話を聞いているが、定めしいい話を沢山覚えたことだろうね」ととききました。

おばあさんは「ところが牧師さん、もう覚えるそばからみんな忘れてしまします」牧師さんは「折角聞いたいい話を忘れてしまったではまるじゃないか」と申しますと、おばあさんは「でも牧師さん、この羊の毛を見てください。ザルの目からは先ずはどんどん逃げていきます。逃げていきますけれども、ご覧ください。羊の毛はこんなにきれいになっています。私も牧師さんの話を聞いては忘れ、聞いては忘れていますが、私の心も少しはきれいになっているとおもいます」とこたえたということです。

私たちは忘れることを恐れていません。沢山の話を聞き、沢山の本を読みます、そして聞いては忘れ、読んでは忘れますが、何回もやっているうちに次第に自分自身が磨かれていくように、ロータリーの話を聞いては忘れ、本を読んでは忘れしているうちに、次第にロータリーが身についていく。奉仕の心が身についていくのです。これが智慧ということです。

だからロータリーは毎週例会にてて来いよとうございます。

ロータリーが寄付団体であるならば毎週例会に出る必要はありません。毎週例会にてて、毎週寄付をとられていたらロータリーは空中分解をするでしょう。寄付団体であるならば、一ヶ月に一回でも結構です。極端なことを言いますと、例会など一回も出なくとも結構でしょう。寄付さえ出しあけばいいのです。しかしロータリーは寄付団体ではありません。倫理団体です。

クリスチャンが毎週日曜に教会に行き、神に祈り、心を磨くように、ロータリアンは毎週例会にててお互いに心を磨きあうのです。これがロータリーの基本的な考え方です。なぜかと言うと、ロータリー運動が倫理運動だからです。世の為人の為に倫理を提唱していくなら、先ず

ロータリアン自身のこころを磨かねばなりません。ロータリアン自身の倫理を高めなければ世の中に倫理を提唱することはできないわけです。したがってロータリーは毎週例会に出よというわけです。 (RID2740 佐古了尊PDGの資料から引用)

● 同好会報告



井原世話人

弥山クラブでは宮島の紅葉がピークになるだろう11月9日に、弥山登山ではなく、宮島の紅葉を愛でる会を催すことにしました。

残念ながらメンバーの高齢化が進み、皆さん身体のあちこちに故障がでてきて遂に弥山に登る人が居なくなりましたので、ゆっくりと宮島を散策しようということになりました。集合場所等は未定です。

弥山クラブメンバーでなくても、11月9日に紅葉を見に行こうという方がおられましたら、私の方に御連絡下さい。

● 会員記念日



連続出席100% (6名) —

大本君 (22年)

教蓮君 (20年)

森信君 (20年)

木村君 (15年)

土井君 (15年)

新原君 (13年)

連続出席20年 教蓮 幸生 会員に記念品贈呈



連続出席20年 森信 秀樹 会員に記念品贈呈



連続出席15年 木村 構臣 会員に記念品贈呈



連続出席15年 土井 英幹 会員に記念品贈呈



ご結婚記念日おめでとうございます。

(17名)

柴田君	垂井君	新本君	刀禰君
森信君	池田君	木本君	豊岡君
簞君	山下君	松岡(幹)君	
教蓮君	荒谷君	梶君	金本君
羽井君	田中君		

● スマイルボックス SAA 刀禰委員

山木君 (自主申告・大枚)

10月3日の山木靖雄励ます会において、広島西ロータリークラブの皆様には物心両面において、御協力いただき心からお礼を申し上げます。

広島県行政には多くの課題がありますが、皆様の意を大切にして、解決の為に努力してまいりますので、今後共、よろしく御指導のほど、お願ひいたします。

鮫島君 (自主申告・ダブル)

このたび、私共、ANAクラウンプラザホテルでは、皆様からご愛顧いただいております中華料理“桃李”でスペシャルプランを発表させていただきました。

3名様以上で、8,000円の飲み放題プランが5,360円となるプランです。

11月14日までの限定となっておりますので、是非、この機会をご利用下さい。

全員ボックスにパンフレットを入れさせていただきました。

●鈴木君（自主申告）

ゴルフの「日経カップ企業対抗選手権2014」の決勝大会は、10月11日、茨城県の筑波CCで行われ、大会初代王者に輝いた当社プルデンシャル生命保険が2度目の優勝を果たしました。

団体戦には38社が参加し、18ホールストロークプレーで上位3人の合計スコアによって順位を決定、231ストロークでの優勝でした。

私も、チームプルデンシャルに入部したいところではございますが、ゴルフ部からのお誘いもなく、モモンとしております。

ともあれ、当社ゴルフ部が日本経済新聞社主催の企業対抗選手権に、団体優勝したことは嬉しい思い、出宝したいと思います。

ありがとうございました。

●豊岡君（自主申告）

今日は、38年目の結婚記念日です。

●例会料理メニュー



■卓話

カープと広島のスポーツ

中国新聞社 記者
小西晶氏

今季のカープは、優勝への千載一遇のチャンスを逃した。巨人は故障者続出で勢いがなく、阪神も一気に駆け上がる力はなかった。一方、広島は丸、菊地を中心に若手が一気に台頭。外国人がこれほど見事に当たったシーズンもなく、開幕ダッシュにも成功した。



9月の頭まで1、2ゲーム差に付けていたことを思えば、もったいないと言うしかない。

敗因はやはりベンチワーク。野村監督の短期的な視点と、場当たり的な采配のつけがシーズン終盤に出たということだろう。好スタートを切ったことで、「優勝」という二文字が現実的になったのか、焦って全ての試合を勝ちにいってしまった感がある。中田ら特定の投手を酷使させたことがいい例。一方、自分の好みではない選手にはチャンスを与えず、1、2軍全戦力で戦うという方針は看板倒れに終わったように思う。

一番のミスは、自らの戦術すべて打開できると勘違いしたことにある。投手の左右によって、ころころと打線をいじったのはその最たる例。クライマックスシリーズという大事な舞台でも、「1番菊地、2番丸」というシーズンでほとんど試行していない奇策に打って出て、散った。選手は駒ではなく、人間。その意識を持ちきれなかつたことが、野村監督の最大の悲劇であり、笛吹けど、選手がまったく踊らなかつた要因だった。

残念なのは、野村監督に参謀と呼べるヘッドコーチがいなかつたことだ。監督一人で全てを決める手法には限界がある。行き詰った時に、新たな手が打てないからだ。もし、参謀がいたならば、監督の独善的な采配に注意を促し、方向性を修正することも可能であったかもしれない。そういう存在を持とうとしなかつたことが、野村政権の最大の悲劇だった。

来季からは緒方新監督が指揮を執る。同じ失敗をしないためにも、スタッフ編成は重要だ。特にヘッドコーチ、投手コーチに人選を誤ってはいけない。新井打撃コーチでの成功例を考え、他球団出身者でもいい人材がいれば声をかけるべきだろう。戦力はそろっている。歓喜の瞬間を迎えられるよう、厳しくそして熱く声援を送っていきたい。

●卓話予告

日時	テ　ー　マ
10/23(木)	クラブフォーラム（職業奉仕）

